



子どもと未来通信

2024年1月 No.2

発行：HP「フッ素・子どもと未来」

子どもの歯と健康を考える会山形 事務局

フッ素の有害性を示す NTPレポートを行政に！

フッ素洗口導入を推進する行政の担当者とのやりとり（例）

組合：皆さんは、学力向上が学校教育の大きな目的の一つだと認識されていますか？

行政：もちろんです。

組合：では、その目的を阻害するような要素は、できるだけ排除するべきだと思うのですが、それについてはどう思われますか？

行政：もちろんです。可能な限りそのような要素はない方が望ましいです。

組合：そうですね。同感です。教員がどんなに頑張って教育しても、そもそも子どもの脳や神経細胞の発達を阻害するような物質を子どもにあたえたのでは逆効果です。学力向上を目指しているのに一方で脳を壊したら学力向上どころでは
ありませんよね。

行政：その通りです。でも、そんなものが学校にあるんですか？

組合：ありますよ。フッ素洗口です。（そしてNTP レポートを提示）



NTP とは・・・公衆衛生のため、有害物質に関して試験・研究・分析を行うアメリカ保健福祉省公衆衛生局内の省庁間協力組織 1978年設立

2024年8月 NTPが公表した1つの報告書(システマティック・レビュー) によれば・・・

フッ化物（フッ素洗口に使うフッ化ナトリウム以外のものも含む）の暴露量と子どものIQには
逆相関関係(フッ化物の量が増えると、IQが低下する)がある

この報告書には「フッ化物の量がいくら以下であれば安全である」という内容がない。

つまり、フッ化物による脳神経系への悪影響を避けるには、今のところ・・・

フッ化物の摂取量をできるだけ少なくする

以外の方法がない、ということになる。

IQや認知能力
発達障害などの影響

教育委員会が
こんなこと

学力向上？
とんでもない！
していいの？

もう次元が変わった！

これまでフッ素洗口の議論は、

1, むし歯の予防効果の有無

2, フッ素洗口の安全性(急性中毒発生の有無)

を主な論点として争われてきた。つまり、「子どもの健康に資するもの」としてフッ素洗口を捉えてきたのである。

しかし、NTPレポートは、それとは真逆、且つむし歯予防効果や急性中毒発生の有無といった観点よりはるかに上位である「脳神経細胞の発達への有害性」を指摘した。

この時点ですでに、むし歯が減るとか、飲んでも大丈夫と言った視点は、全く意味のないものになった。フッ素は「健康に効果あり」どころか「人体への有害物質」になったのである。

例えむし歯予防効果がどれだけあろうと(実際にはほとんどないが)、脳神経細胞の発達を阻害する可能性のあるものを、しかも公共教育機関で子どもたちに使用させるのは、子どもの福祉に大きく反する行為である。

さらに裁判の判決も・・・

NTP レポートと同様の「裁判判決」もアメリカで出ている。

裁判はカリフォルニア州で行われた。約7年間のやりとりの末、今年ようやく判決が出たのだが、内容はNTP レポートとほぼ同様だった。

カリフォルニア州では、水道水に0.7 mg/l のフッ化ナトリウムが添加されている。このフッ素入り水道水について裁判所は

「子どものIQを低下させる不当なリスクを生じさせる」

という判決を出し、同時に

「EPAが規制に取り組まなければならないほどのリスクがある」

と判断したのである。

「EPA」は、アメリカの環境政策全般を担当する行政機関で、日本の環境省にあたる。この機関で対策を実施しなければならぬほど、フッ素入り水道水の影響は無視できないほど大きい、ということになる。

つまりこの裁判が、NTP レポートを裏付けたことになるのである。

故秋庭賢司歯科医師と骨フッ素症の人たち

この裁判は、秋庭氏が長年にわたって支援してきたもの。



科学論争は、そもそも教員の範疇ではない。従って、NTP レポートの詳細な内容についての議論になれば、専門的な知識のある歯科医師にやり込められてしまう可能性が高くなってしまふ。

だから、NTP レポートについても、各論文の実験方法の詳細や、システマティック・レビューの作成方法など、詳細な部分についての議論は避けるべきである。ポイントは「逆相関関係がある」と「安全な摂取量が明記されていない」こと。フッ素が脳や神経細胞の発達に影響を与える可能性がある限り、子どもの学力向上を含めた生きる力の育成のためには、その摂取量を最小限に抑えるしか今は方法がないことを強調して中止要求しよう。

この会報や「フッ素・子どもと未来」の記事について、「行政等からこんな反論された」「こんな対応だった」という情報をお知らせください。反論するための方法やその根拠を提供します。連絡先はHP「フッ素・子どもと未来」の「会員のページ」から可能です。

また、あらたにこの通信を必要とされる方や各種連絡はHP「保健室のポケット」の「問い合わせ」からメールしてください。返信には3～4日かかる場合がありますが、ご了承ください。